

政策評価書(要旨) (事後の事業評価)

事業名	新アスロック	担当部局	経理装備局艦船武器課
政策体系	4-1 研究・開発	実施時期	平成19年11月～20年3月

事業の内容 将来の護衛艦に装備し、水上艦用ソーナー等と組み合わせた運用により、敵潜水艦を遠距離で撃破するための新アスロック(注)を開発する。 (注) アスロック: Anti Submarine ROcket (魚雷投射用ロケット)	<table border="1"> <tr> <td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>終了年度</td> </tr> <tr> <td>←</td><td></td><td>試作</td><td></td><td></td><td>→</td><td></td><td></td><td></td><td>19年度</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>試験</td><td></td><td></td><td></td><td>経費総額</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>←</td><td>-----</td><td>-----</td><td>-----</td><td>-----</td><td>-----</td><td>→</td><td>約190億円</td> </tr> </table>									11	12	13	14	15	16	17	18	19	終了年度	←		試作			→				19年度						試験				経費総額			←	-----	-----	-----	-----	-----	→	約190億円
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	終了年度																																							
←		試作			→				19年度																																								
					試験				経費総額																																								
		←	-----	-----	-----	-----	-----	→	約190億円																																								

評価の内容

事業の目的 対象潜水艦の高性能化、特に潜水艦から発射される長魚雷による遠距離からの攻撃能力の向上に対処するため、護衛艦の広域捜索能力及び探知距離の向上に対応し、目標探知後早期に護衛艦からの発射を可能とする高い即応性と遠距離での対潜対処能力を有する長射程のアスロックの開発を目的とした。	達成状況 ①達成効果 以下の技術項目を達成したことを確認したことにより、高い即応性と遠距離対潜対処能力を有する新アスロックを開発した。 ア 関連システムとのインタフェース技術の確立 イ 水上艦からの垂直発射誘導制御技術の確立 ウ 超音速誘導弾技術の確立 エ ペイロード部分離/減速/放出技術の確立
②達成時期 平成11年度から試作に着手し、平成19年度までに技術試験及び実用試験を終了し、開発を完了した。なお、当初計画では平成17年度終了予定であったが、パラシュートによる減速技術に係る課題解明のため2年間延長した。	③教訓等事項 新アスロックの開発において、超音速からのパラシュートによる減速技術等の技術的に困難な内容をクリアしたことにより、技術基盤の育成に大きく寄与したものとする。

今後の対応

今後、護衛艦への整備を進める予定である。

その他参考情報